

住民問題

行政区立ち上げ、加入促進は

震災直後でもあり、再度話し合いを



太田 伸子 議員

【地域コミュニティについて】

問 緊急避難場所には行政未加入者は収容できるのか。

村長 未加入者であっても緊急の場合関係なく収容します。収容規模については、全員が避難した場合に賄えるかは非常に疑問符が付きますが、今後考えていかなければならないと思っています。

問 区加入者には普段の義務も発生しているが、災害など緊急時には助け合いの輪がひろがる。今の平穏な時期に区加入、区の立ち上げ

を推進していただきたいが。

村長 一部地域の皆さんと話し合いを進めてきています。地域連帯感の希薄化により、なかなか住民合意が得られず、進んでおりません。

しかし、震災の直後でもあり、再度話し合いの場を設け、前進できるような考えています。

【緊急災害対策について】

問 被災された現地への支援対策本部の系統は。

村長 様々な機関・団体の皆様に賛同いただき白馬村避難者連絡会を組織しました。被災地への支援は被災地支援本部が、避難者への支援は支援連絡会が中心となって推進していきます。

問 対策本部に申し出た人が各組織を廻るのではなく、受入れが一本化されるような組織系統にならないか。

村長 国の補助を受け8億円近い投資をして出来た設備であり、自主放送を通じて、地域をご理解いただくともに、行政の姿勢を情報発信していく手段としてカメラと声

総務課長 現在の組織及び事務分担では個人の方に回っていたりするようになっていますが、混乱を生じさせないような方向で検討していきます。

【ケーブルテレビ白馬について】

問 7月にアナログ放送が終了するが、高齢者には周知されているか。

村長 停波に向けた調査は行っていますが、民生委員を通じて実態の把握をお願いしています。

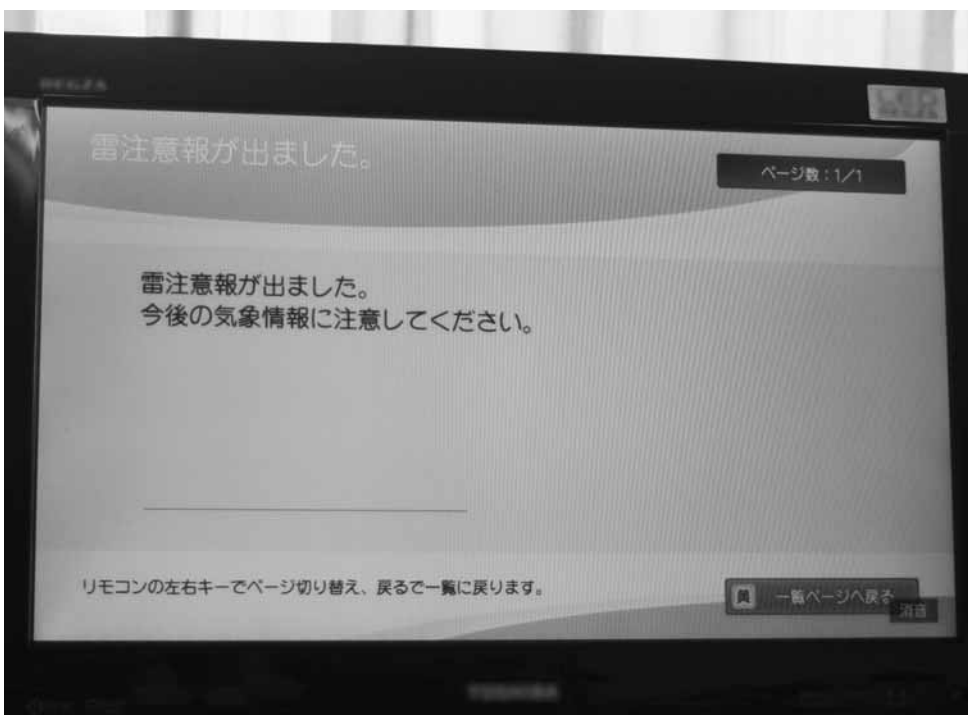
問 村営のケーブルテレビ事業であるので、積極的な加入推進の努力が必要なのは。

村長 国の補助を受け8億円近い投資をして出来た設備であり、自主放送を通じて、地域をご理解いただくともに、行政の姿勢を情報発信していく手段としてカメラと声

と映像による告知方法が大事という公約が実現しました。全戸加入に向けて努力を続けていくべきと考えています。

問 ユーテレ白馬のデータ放送について、各担当課のデータの切り替わりが来ていないのでは。

村長 学校関係、観光局関係などそれぞれの情報発信できる場所を一堂に集めながら、その徹底を図っていくよう庁内に指示をしたところであり、是正に向けて取り組みをしていきます。



気象情報を伝えるユーテレ白馬の画面